

藤野地区町内会連合会

# ルピナス 230

第111号

令和3年11月15日(月)

田中果樹園さんにて



コロナ禍の中にあっても  
地域住民に寄り添い、  
活動する民生委員児童委員協議会

藤野地区町内会連合会 副会長 星野 数夫

今回は、福祉部と繋がりのある民生委員児童委員協議会についてご紹介します。

民生委員は民生委員法により設置が定められ、職務の重要性に鑑み、厚生労働大臣から委嘱される「非常勤の特別職の地方公務員」とされています。現在、藤野民児協は、民生児童委員二十七名（白川地区含む、約三百世帯に一名）、主任児童委員二名（藤野地域）の構成で活動中です。

新型コロナウイルスの出現で社会が一変しました。わが国において初めて「緊急事態宣言」が発令されるなど、新型コロナウイルスは未曾有の災禍をもたらしています。「新たな生活様式」などを踏まえてコロナ禍にあつて民児協活動のありかたを模索・構築しています。

札幌市からの依頼により活動しています。藤野地域の独居宅は令和三年八月末現在で580件。毎月平均訪問件数は350件前後で、声がけ見守りを行い、コロナ禍の中での訪問となつています。電話・メモ用紙連絡・インターホンでのお話し、近所の方からの情報収集等々。

前年度から特殊詐欺防止へ官民でスクラム、道警と民生委員で高齢者見守り活動を毎年三から四地域を選定して活動しています。委員の活動内容が昨年度から変わり、六五歳～六九歳の方に対しては六五歳到達後に訪問し、札幌市からのお知らせなどの資料をお渡ししています。暮らしに役立つパンフレットや必要な支援機関やサービスの紹介など。また、見守りが必要な方には、お申し出をいただき、緊急時の連絡先等をお伺いしています。さらに五年前に訪問六五歳時にお知らせした方に対して七十歳到達後に再確認訪問調査を実施しております。

主任児童委員は特定の区域を持たず、いじめや不登校の問題、児童虐待の早期発見、対応に向けて、学校や児童相談所などの関係機関と連携し、区域を担当する民生児童委員と一緒に、問題を抱える家庭の支援を行います。「たすけ上手・たすけられ上手」を目標に、委員の活動の基本は「つなぎ役」です。地域住民に寄り添った活動をしてまいります。



晴れの表彰者。左端は大平南区長。右端は吉田町連会長。

令和三年度  
地域功労者  
市長・区長  
表彰受賞者

令和三年度地域功労者市長・区長表彰が十月十八日(月)に藤野地区センターで行われ、四人の方々が晴れの表彰を受けられました。札幌市長表彰は船越盛正さん(藤野三区)、船橋廣光さん(藤野団地)、区長表彰は瀬戸克夫さん(藤野三区)、飯盛禮子さん(富士見)。大平英人・札幌市南区長から感謝状が贈られました。船越さんと瀬戸さんは三区の小野泰裕会長が代理で受けられました。

《市長表彰》

船越 盛正様 (ふなこしもりまさ)

平成二十一年四月

～平成二十七年三月

藤野三区町内会副会長

平成二十七年四月

～令和三年三月

藤野三区町内会会長

船橋 廣光様 (ふなばしひろみつ)

平成二十二年四月

～平成二十六年三月

藤野団地自治会副会長

平成二十六年四月

～令和三年三月

藤野団地自治会会長

《区長表彰》

瀬戸 克夫様 (せとかつお)

平成九年四月

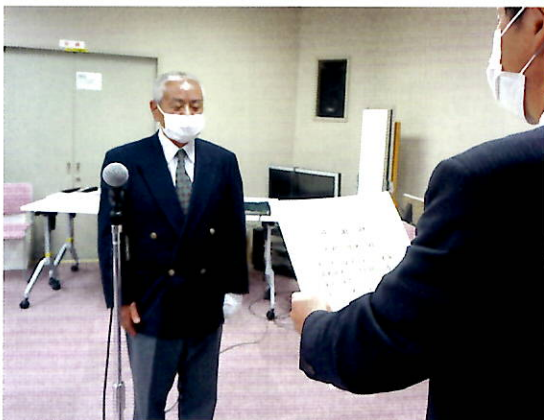
～平成二十一年三月

藤野三区町内会総務部長

平成二十七年四月

～令和三年三月

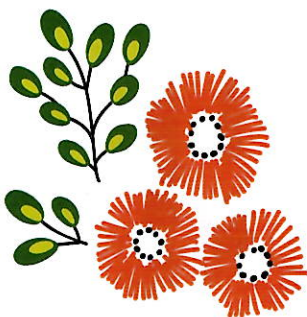
藤野三区町内会副会長



船橋 廣光 さん



船越盛正さんと瀬戸克夫さんの代理で表彰を受けた小野泰裕さん



飯盛 禮子 さん

飯盛 禮子様 (いもりれいこ)

平成十四年四月

～平成二十一年三月

富士見町内会副会長

平成十五年四月

～平成二十一年三月

藤野地区町内会連合会保健部長

平成二十五年四月

～平成二十七年三月

藤野地区町内会連合会福祉部長

平成二十七年四月

～令和三年三月

富士見町内会会長

## 藤野老協が30周年を迎える

藤野地区老人クラブ協議会（中西敬一郎会長）が創立30周年を迎え十月二十六日（火）、藤野地区センターで記念の集いを開きました。コロナがやや小康状態となり、緊急事態宣言も解除されましたが、リバウンドや第6波の不安もぬぐえないため、クラブ代表者ら限られた参加者、短時間での開催となりました。

藤野地区老人クラブ協議会は平成三年十月十二日に、それまでに設立されていた「藤寿会」「五五会」「藤野紫会」「ふじみ会」「白寿会」「藤野一五会」「藤宝クラブ」「南藤クラブ」「藤野本通クラブ」の9の単位クラブが、互いの連携を図るために結成されました。これにより、単位クラブとしての活動だけでなく、近隣クラブとの交流や町内会、福祉協議会との連携など幅広い広がりを見せるようになりました。また、藤野老協の定例的事業として、「総会」「運動会」「娯楽大会」「合同例会」「輪投げ大会」の5大イベントを実施してきました。

集いでは、中西会長が「藤野地区老人クラブの創立と藤野老協30年の歩み」と題して老協の歴史について報告。また、会員の増強を目指すために、30周年を契機に、より一層の魅力的な老人クラブ活動を積み重ねていくことを申し合わせました。



藤野老協創立30周年を記念する集い



老協の歩みについて報告する中西会長

## 藤野一五会が札幌市の高齢者福祉功績者表彰を受ける

藤野一五会（阿部光徳会長）が九月十五日に「札幌市高齢者福祉功績者等表彰」（市長表彰）を受賞しました。老人クラブの活動が30年以上で社会福祉協議会からの推薦で選定されるもので、南区ではこの「藤野一五会」だけが受賞しました。

藤野一五会は十五島町内会のエリアを中心とした老人クラブ。会員数は五十五人。昨年、設立30周年を迎えました。イベントでは、ゲートボール、グラウンドホッケーなどのほかに、ダーツや「言葉のあやとり」など新しい試みを積極的に取り入れています。今回の受賞について阿部会長は「びっくりしました。うれしです」と喜びの笑顔を見せてくれました。年末にかけては「一五会だより」を制作し、一層のPRを図ることになっています。

## ヒグマ勉強会が開かれる

ヒグマへどう対処するか。藤野地区の住民有志の呼びかけで、NPO法人エンビジョン環境保全事務所による「ヒグマ勉強会」が十一月三日（水）、藤野地区センターで開かれました。ヒグマの出没情報が札幌10区の中で断トツの南区とあって、出席者は講師の説明に真剣に耳を傾け、質問を重ねていました。

札幌市のHPによると、出没情報が多かった令和元年度の統計によると、南区での目撃情報は174件で、札幌市全体196件の89%を占め

ています。特に、最近は一バンベアと呼ばれる住宅地近辺に出没するクマが、連日、新聞テレビのニュースとなりました。

勉強会では、まずエンビジョンの早稲田宏一さんが、スライドを使って、ヒグマの生態と習性、足跡やフン、食痕などの痕跡の見分け方などを説明。また、食性については、植物質を中心とした雑食性であるが、肉や魚も簡単に手に入れば食べ、執着性があると話していました。

最近では、トラップに残った毛のDNA分析から個体識別をする調査が進み、人に慣れた特定のクマが繰り返し出現する傾向が分かってきたという。

この後、約20人の出席者が3つのグループに分かれて、互いに議論しながら、藤野地区のヒグマのリスクを図示する「ヒグマハザードマップ」を作成しました。参加者からは「大変勉強になった。こういう会をまた開いていただければ」という声が出ていました。



ヒグマ勉強会

「花いっぱい運動」展開！花植えに心地よい汗

環境部は令和三年度の花植え事業を行いました。例年五月下旬から六月上旬に、各町内会ごとに役員、ボランティアらによって花壇ますの土起こしや花苗植えを行ってきましたが、今年は五月三十日に五町内会で花の苗を植えました。国道、市道の花壇ますに植えられた色とりどりの花に、道行く人は目を細めていらつしやるようでした。これからも新型コロナウイルスへの感染対策を十分に行い、体力維持に努めながら頑張っていきたいと思えます。

（環境部部長 古川和夫）



藤野地区町内会  
連合会役員会



藤野地区町内会連合会役員会が十月十八日（月）午後六時から藤野地区センターで開かれた。冒頭、吉田会長が「四月二十二日以来の会議。自粛が続いていたが、ワクチン接種がこれ

までの状況に変化をもたらし、このまま静まってくれたら」と挨拶。引き続き会議に入り、今後の活動予定などについて話し合われた。

各部の行事では、青少年部の「新春書初め会」は実施するが、「ふるさとふじの子ども会議」「鑑賞会」は中止される。体育部の「雪中運動会」も中止となった。

また、昨年度、初めて開催された「藤野雪あかりの小路（こみち）」は今年度も行われる。場所は昨年度と同じ藤野地区センター前。日程は令和四年一月三十一日（月）～二月一日（火）で時間はいずれも十七時～十九時。アイスクャンドル二〇〇基、雪だるま二基程度の製作が予定されている。

実施体制は町連、老人クラブ、まちセンを中心とした連携体制で行われる。十一月下旬から具体的に協議を開始し、一月下旬から製作作業に取り掛かる。

編集後記

初秋の一日、田中果樹園さん（藤野二条三丁目二十五）にお邪魔し、一面の写真を撮らせていただきました。リンゴ、プルーン、ブドウ、ナシなど秋の果物がたわわに実り、果物狩りをしている人たちの姿が楽しそうでした。リンゴは津軽、あかね、わせ富士など、ブドウもナイアガラ、ポートランド、キャンベル、ノースレットなど種類も豊富。ブドウをいただき口に含んでいると、何十年前も前に読んだ物語の一シーンがよみがえってきました。

有島武郎の『二房の葡萄』です。味覚などの五感が刺激されると記憶回路も活性化されるようです。幸せな一瞬でした。（渡部 記）



ルピナス第二一一号

令和三年十一月十五日発行

発行人 吉田 健治  
 編集人 渡部 徹  
 編集人 仙北 英治  
 印刷所 日光広告(株)  
 連絡先 五九三〇二二五